

流しの OL が思うこと

ペンネーム『得体』

私はここ 10 年ほど派遣社員で生活をしており、そして人に「仕事は何をしているの？」と聞かれたら「流しの OL」と答えるのがお気に入りです。現時点では、派遣社員という立場で非常に満足している身でもあります。

なぜ派遣で働いているのか？と言えば「派遣会社が希望する職種の仕事を先を見つけてくれるからラクなこと」「派遣先企業の就業ルールには則るが、その他束縛が少ないこと」です。また、派遣先で契約満了すれば他企業を探してもらえて働くことができ「正社員の転職よりも簡単に色々な企業での雰囲気や環境、業務などを体験できる」のが魅力であり、私自身が色々な企業を渡り歩いている意味も込めて「流しの OL」と答えております。

本来は、働き方がどうであろうとメリット・デメリットは平等に与えられており、それをどう取るかは個人個人の好みや生き方によって判断されるものと私は考えております。

たとえば派遣社員であれば私のように「好きな職種や時間帯、自分の生き方にあったスタイルが自由に選択できる」など、正社員は「ボーナスが出る、安定している」などがメリットかと存じます。反対にデメリットとなると、派遣社員は「自由の幅は広いが、ボーナス・交通費無し。派遣先都合でいつ契約がなくなるか分からない」正社員では「安定はしているが、希望部署へ就けないこともある、サービス残業がある」などでしょうか。

このように、ただ働き方やメリット・デメリットが違うだけであるのにも関わらず、ましてや現在では派遣社員であろうと正社員であろうとリストラされる時はリストラされるし、再就職も厳しい状況が続いています。それなのに「正社員の方が上」のような風潮があり、また「切りやすいのは派遣」となってしまうようです。

派遣業界を向上させるには、お客様企業ではなくお客様企業で働いている正社員の方や世間に「派遣の世界は羨ましい」「派遣という生き方もアリ」と思わせたいものです。

ボーナスや交通費が出ない・なかなか時給アップが見込めないのは、そういう生き方を選んだ者として承服できますが、現在の世相として就業先があるだけでもありがたい派遣社員は、雇い止めが一番の恐怖です。私も契約更新時期になるとビクビクしております。おそらく正社員や世間も「派遣は正社員よりも不安定だから嫌だ」と思っているのでしょう。

夢物語を申し上げますが、たとえ雇い止めにあったとしても失業保険だけではなく、派遣会社同士協力して雇い止めなどにあつた方への受け皿になるような保険(ダイナースカードの起源のような)の仕組みと「繋ぎ」だとしてもすぐにまた仕事に就けるフォローアップがあつたらいいかと存じます。(派遣社員からは「任意」でちゃんとこの仕組みにお金を納めていただきます)他にはたとえばインターネットの SNS や Twitter なども活用し「派遣という生き方を必要としている」ということや派遣社員としてのメリット、改善しなければいけないデメリットを大きくアナウンスしていただきたいです。

私が派遣会社に願うことは派遣先企業とも密に連携をし「あなた方はお客様企業ではあるが、こちらからはあなた方にとって利便性に満ちており、かつ貴重な人材を提供しているから、あなた方も助かっているのだよ」ということを分かってもらう努力が必要だと存じます。それと同時に胸を張って、そう送り出せる派遣社員の教育・品質向上も必要です。

また向上も大事ですが原点に戻って「そもそも派遣社員はなぜ世の中に必要なのか」を再考・熟考し、派遣業界内でも間違っていて進んでる部分があれば軌道修正をしていくよう願っております。